

ひかり

Kikuna
Memorial
Hospital
News Letter

vol.72

2013.1

ご自由にお持ちください

- 年頭あいさつ
新しい年を迎えて
- みなさまの声にお答えします
- 糖尿病と虚血性心疾患の
関連性
- 皮膚科専門医による
乾燥肌対策
- おくすりのはなし vol.07
- KMH NEWS
- KMH TOPIC

新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。

山本 登

理事長



新指導体制になってから3回目の新年を迎え、科による格差(人員不足など)はあるものの、漸く安定した診療体制が構築されつつありますが、当院の志向する超急性期医療を担っていく為には、更なる「志を持った」診療要員の補充が不可欠と考えており、本年は「総合診療科+救急科」、各専門領域の専門医、勉学の意欲に燃えた若手医師及び(後期)研修医を招聘したいと願っております。昨年より1年かけて後回しにされていた当院の内・外装の修繕、手術室及び中央材料室の整備(手術室2室増室、消毒・滅菌装置のリニューアル)に着手し、診療環境が若干改善されました。特に手術室は近年増加傾向にある各診療科の手術に対応すべく整備が望まれていたもので、残る課題である麻酔科医の増員によって持てる機能を十分に発揮できるものと期待されます。

昨年は手控えざるを得なかった診療機器の更新・増設、電子カルテの更新も喫緊の課題として認識しており、検討に入る予定ですが、不安定な政治情勢下では、特に消費税の動向如何によっては、消費税を他に転嫁できない医療機関(特に病院は負担が収入の3~5%になる)にとっては、新たな投資は断念せざるを得ない状況に陥る可能性もあり、先行きは正に混沌としております。

昨年は前半の人員(特に内科医)の不足による各指標の低落傾向を、各診療科、各部門の職員の方々のご協力により持ち直し、後半では対前年を上回る成果が得られました。「災い転じて福と成す」とまでは行かずとも、診療環境が多少は整備された本年では更なる改善が期待されております。

当院の使命である地域医療への貢献の為には、職員各位の弛まぬご努力と、当院との前・後方連携に於いて多大なるご協力を賜わっている、各医療機関・施設の皆様方の変わらぬご尽力が不可欠であります。そしてまた何よりも当院の機能・特性をご理解戴き、当院をご利用戴いておられる患者の皆様方には、更なるご理解・ご協力をお願いする次第であります。本年も宜しくお願い致します。



中山 宏幸

院長

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の診療報酬・介護報酬同時改定では、高齢化のピークを迎える2025年に向け、国の社会保障改革シナリオに則った方向性がはっきりと打ち出されました。医療・介護提供体制の効率化・重点化や役割分担の明確化が強調され、医療機能の分化と連携など機能強化・連携強化を大きく促す改定でした。さらに病床の絞込みなど病床再編へ向けて、今後も急性期医療を取り巻く環境が大きく変化することが伺えます。当院としてもこの大きな流れをきちんと見据え自院の立ち位置をしっかりと把握し対策を講じていく所存です。当院の地域に対する救急患者や紹介患者の受け皿としての機能はここ数年で大きく伸びて参りました。これからも当院は超急性期病院として地域に必要なとされる病院を目指し、地域と共に歩んで参りたいと思っております。職員一同真摯に謙虚に邁進していく所存です。本年も皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



高橋 由美子

看護部長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年来、外装に続いての院内改装のため、大変ご迷惑をおかけしております。皆様のご理解ご協力の下、大きな事故もなく新年を迎えられたことを心から感謝申し上げます。また1月には病棟の一部改装、診療科配置再編を予定しておりますため、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

さて2012年は感染対策地域連携をはじめ、訪問フットケア教室、コミュニティハウスでの市民講座など、新たな取り組みを通し、地域の皆様や医療介護機関の皆様にお会いする機会が多い1年になりました。社会保障改革や地域医療計画に示されるように、今後は地域で支え合うケア体制、地域の実情に応じたサービス提供体制の充実・強化が求められます。地域の皆様との活動、各機関・各職種間の連携協働を深め、自院が担う役割をしっかりと果たしていくための人材育成、体制創りに努めて参ります。昨年同様沢山のご提言ご支援を賜りますよう本年もよろしくお願いいたします。



副院長兼診療統括部長
村田 升

本年も「誰からも安心・信頼される病院」としてこの横浜の地域医療に貢献していくため、職員一同、研鑽を重ねて参ります。



心臓血管外科部長
尾頭 厚

常勤医3名体制となり、よりアクティブに診療へ取り組み、常に患者さん側を向いた医療を目指して参ります。



腎・膠原病センター長
佐藤 昌志

「スローライフ」に徹しよう。



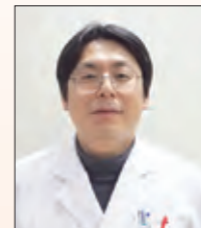
泌尿器科専門医
大森 圭

明けましておめでとうございます。昨年4月よりレーザーを導入し、今後更に伸ばしていきたいと考えております。本年も宜しくお願い申し上げます。



放射線科部長
劉 清隆

本年も院内に留まらず、画像診断センターとして地域の中で頼られる存在となるように頑張っていきます。



循環器内科部長兼
心臓血管センター長
宮本 明

明けましておめでとうございます。本年も「最愛の人を入院させたい病院」を基本理念に頑張っておりますので宜しくお願い申し上げます。



外科部長兼
消化器センター長
嘉悦 勉

今年から手術室も5床と増え、地域医療にますます貢献できるように手術患者さまを受け入れていきますのでよろしくお願い致します。



整形外科部長兼
YMG整形外科統括部長
瀧川 宗一郎

常勤医5名と体制が強化されましたので、本年は地域の整形外科救急医療、専門医療の更なる充実を目指します。



皮膚科専門医
川名 愛

あけましておめでとうございます。本年も「全身の鏡」である皮膚を通して皆様の健康管理に邁進する所存です。



精神科専門医
青山 恭子

青年期から高齢の方までの心が穏やかに過せるように、患者さまの立場に沿った診断と治療を行います。



循環器内科部長
袴田 尚弘

明けましておめでとうございます。今年も24時間365日体制で頑張ります。宜しくお願い申し上げます。



消化器内科部長
西元 史哉

明けましておめでとうございます。便秘や下痢、腹痛などお困りの時、さらに検診でひっかかったなど、みなさんの身近な存在でありたいと思っています。お気軽にご受診ください。



脳神経外科部長
石崎 律子

昨年は常勤医が1名加わり、更に充実した診療体制が整いました。本年も患者さまにとって、より適切な高度医療を提供したいと考えております。



総合診療科部長
庭野 元孝

「お守りを 医者にも付けたい 手術前(患者さま川柳)」患者さまとご家族の気持ちに寄り添う医療が目標です。



アンチエイジングセンター長
山本 芳子

あけましておめでとうございます。「笑門来福」はアンチエイジングにも大切な要素です。本年も患者さまの心と体のアンチエイジング・健康増進に努めます。

スタッフ一同

みなさまの声にお答えします。

2012年もたくさんのご提言、激励をいただきました。
改善したことなど、お寄せいただいた中から
一部をご紹介します。

検査結果のための待ち時間が長い

採血開始を 8:00 からに変更しました。

開始時間帯 (8:30) に採血・検査が集中してしまう
状況を改善するため、採血開始を 8:00 に変更いた
しました。受付を終了された方から注射採血室に
お越しください。

※注射・点滴と一緒に採血させていただく場合は
8:30 からになりますのでご了承ください。

病棟に自動販売機を設置してほしい

栄養管理の必要な入院患者さまも多くいらっしゃるため、設置は予定しておりません。

共用スペースの確保、販売機の照明や音の影響の
問題もあり、以前設置していたものを撤去した経
緯があります。4階正面玄関入り口、売店をご利用
いただきますようお願いいたします。

正面玄関前のウォーターサーバーについて

ウォーターサーバーの水は、お薬を服用される方
のために、常温で提供させていただいております。
冷却、加温のご要望もお寄せいただきましたが他
の問題の発生の可能性もあり、ご理解とご協力
をお願いいたします。

ATM を設置してほしい

ATMの設置主体は各金融機関です。
使用人数や近隣の設置状況等、設置基準によっ
て決められ、現在のところ当院への設置予定は在
りません。

各種クレジットカードがご利用いただけます

4階の総合受付・会計カウンターでは、
各種クレジットカードでのご清算ができます。

※アンチエイジングセンターではクレジットカード
でのご精算が可能ですが、JCB、アメックス
がご利用いただけませんのでご注意ください。

※女性外来棟ではクレジットカードでのお取り扱
いはできません。お手数ですが4階カウンター
をご利用ください。

携帯電話使用の制限について

●直接影響を受ける機器がなければ病室での使用
を許可すべき

機器への影響だけでなく、病室や共用スペースで
は他の方々の迷惑になるためご使用を控えさせて
いただいております。一般的なマナーを守ってご使
用いただきますようお願いいたします。

●使用制限されている場所で使用していても職員
が注意しない。大きな声で話している。

使用できるエリアの案内・説明を強化し、制限に
ついての掲示を改めて行いました。

不適切な使用をされている場合はお声を掛けさせ
ていただきます。お気づきの点がございましたら、
職員にお知らせください。

正面玄関に風除けがなく寒い

出入り口にエアーカーテンを取り付けていますが、
効果が十分に得られていないようです。

エアーカーテンの機能、センサーの調整を行って
います。

また椅子の配置変更、タクシー待ちの方へのご案内
などにより、できるだけ冷気の影響がないよう
努めます。

医療サービス向上委員会

当院にご来院される方が安心して利用できるよ
うな病院作りを目指し、その具体案を
検討・立案するため、月に一度各部署より代
表者を集めて会議をしています。みなさまか
ら寄せられたご意見をもとに、業務の質の向
上や、設備の改善を実施しています。

職員の対応についてのご意見

各職種に対し、たくさんの方の労いや励ましのお言葉
をいただきありがとうございました。

対応の不備や接遇マナーなどについてご指摘いた
だいた内容は、院長はじめ各部門代表で構成する
サービス向上委員会でご共有し、当事者や部門と話
し合い改善に取り組んでおります。

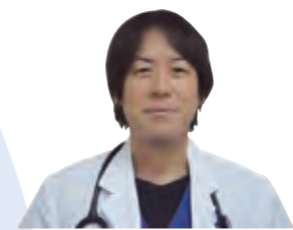
また、総合案内窓口では皆さまからの様々なご意
見ご相談をお受けいたしております。お気づきの
点、お困りのことがございましたら職員にお尋ね
ください。

～投書箱へご意見をお寄せください～



院内の西口玄関
・4F 外来フロア
・病棟等に投書箱を
設置しております。
お気づきの点が
ございましたら、
是非、ご利用ください。

糖尿病と虚血性心疾患の関連性



循環器内科 手塚 信吾

世界第6位の糖尿病大国日本

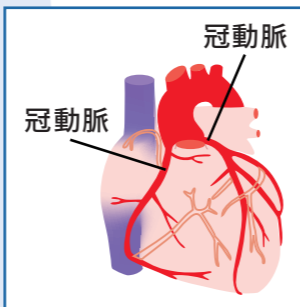
糖尿病(2型)は年々増加している生活習慣病のひとつとされており、2011年の統計では日本の糖尿病人口は1000万人を超え、世界でも6番目の多さとなっています。また、初めのうちは自覚症状が伴わないことも多く、その約4割が治療を受けていないというデータもあります。糖尿病はその型に関わらず、知らず知らずのうちに動脈硬化を進め、虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)・脳卒中(脳梗塞・脳出血)閉塞性動脈硬化症などの動脈硬化によって起こる病気の危険性を高めます。一度診断がつくと長くお付き合いをしなければならない病気ですが、適切な治療を受けることでそれらの発症リスクを抑えることが可能ですので、まずは病気をしっかり理解し向き合うことが大切です。

虚血性心疾患とは

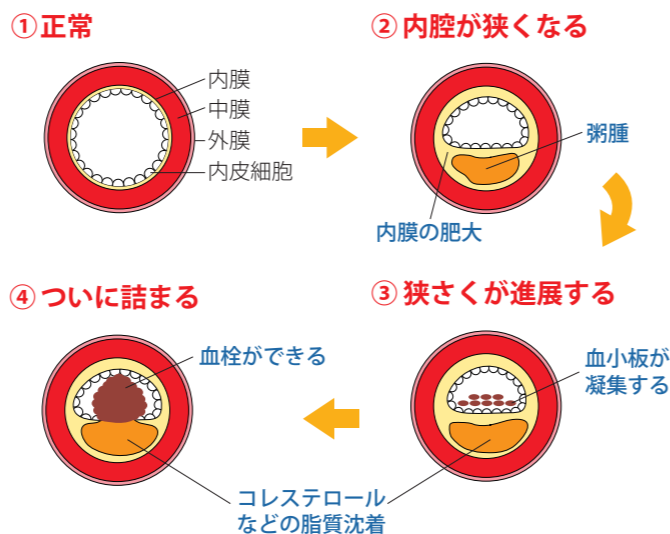
今回は、糖尿病が危険因子となる疾患のひとつ、虚血性心疾患についてお話をしたいと思います。「虚血性心疾患」と言われるとイメージがわからない方もいらっしゃるかもしれませんが、「心筋梗塞」と「狭心症」の総称です。これなら聞いたことがありますよね?心臓は、1日に平均で10万回ほど心臓の筋肉(心筋)が収縮と拡張を繰り返すことによって血液を全身に送り出す、ポンプの役割を果たしています。その心筋に血液を送る動脈を冠動脈と言いますが、この冠動脈の一部に動脈硬化が起こって血管の内側が狭くなると、心筋に十分な血液を送ることができなくなります。心筋は血液の中から酸素を供給されることで正常に働いていますが、酸素不足の状態には極めて弱い部分であり、十分な酸素が行き届かなくなった心筋はその働きを落とすのです。この状態を「虚血」と言います。このため、冠動脈に狭い部分があって血液の流れが悪くなると、体を動かした際や興奮した際に心筋が酸素不足になり、胸が締めつけられるような痛みの発作が起こることがあります。これが「狭心症」です。

さらに、冠動脈の内側にコレステロールや脂肪などがたまったコブ状のものをプラークと言います(アテローム性動脈硬化)が、このプラークが破けると粥状の物質が血管をふさいでしまい、心筋への血流は完全

に途絶えてしまうため、酸欠状態に弱い心筋は死んでしまいます(壊死)。この状態が「心筋梗塞」です。一般的には非常に強い胸の痛みを伴うことが知られていますが、呼吸が苦しくなったり強い吐き気を伴ったり、様々な症状を引き起こすことがあります。病院に救急来院された急性心筋梗塞の患者さんには、通常、壊死してしまう心筋をより少なく抑えるために再灌流を目的としてカテーテル治療や血栓溶解療法といった緊急治療が行われます。しかしながら致死性不整脈(心室細動・心室頻拍)を併発することも多く、現代の発達した救急医療体制の中においても、救命できない症例も少なくありません。ですから、いかに病気になりにくくするか、すなわち動脈硬化に対する予防的治療が非常に重要と言えるわけです。また、もし心筋梗塞の予兆であるかもしれない狭心症状があった場合には、決して見過ごさず専門の検査を受けることが大切です。ところが、糖尿病の患者さんのなかには、「虚血」に伴う症状を感じない方がいらっしゃいます(無症候性心筋虚血)。感じないだけで立派に「虚血」の状態は存在しているわけですから、しっかり評価を行うことが必要です。



血管断面図



当院で受けることができる検査

それでは虚血性心疾患を診断していくうえで、当院で受けることのできる検査についてご紹介していきます。虚血性心疾患の疑われる患者さんには、まず、例外なく心電図検査や心エコー検査を行います。放射線を使用することもなく、痛みも伴わない、体に全く害を与えることのないスクリーニング検査です。



また、足が不自由等でできない方もいらっしゃるかもしれませんが、状況によりベルトコンベアーの上を早歩きから小走りになるまで走っていただき、運動負荷を身体にかけて心電図変化を見るトレッドミルや、ご自宅で機械を付けたまま生活していただき、心電図波形を解析する24時間ホルター心電図も行うことがあります。



これらの検査の後、必要に応じて診断確定のための検査に移ることとなります。当院では、造影剤を注射してCT撮影を行う冠動脈CTや、直接動脈に細い管を通して冠動脈を撮影する心臓カテーテル検査(冠動

脈造影検査)を積極的に行っています。これらの検査結果を総合的に判断し、冠動脈治療(カテーテル治療やバイパス手術)が必要かどうかを判断しています。



早めの対策を心がけましょう!

糖尿病やその疑いがあると言われた人、またその他の動脈硬化を進める要因(高血圧・脂質異常・喫煙・腎臓病・虚血性心疾患の家族歴等)をお持ちの方は、重大な病気の早期発見のため、一度循環器外来や糖尿病外来でご相談されることをお勧めいたします。

外来診療担当表

循環器内科		月	火	水	木	金	土
午前	宮本*	山内	福田	袴田	秋田	交替制	
午後		久原		手塚	椎貝		

*主に再診の患者さまの診療となります。

糖尿病専門外来

糖尿病専門外来		月	火	水	木	金	土
午前		月岡		黒川			
午後		富田	森田	黒川			

(平成25年1月15日現在)

ご予約・お問い合わせ ☎ 045-402-7015

当院は予約制となります。診察の際はご予約をお取りください。

☎ 平日 8:30 ~ 17:30 土曜 8:30 ~ 13:00

今年も開催いたします!

2013年糖尿病教室 年間予定表

1 1/15(火) 13:15 ~	・総論 ・糖尿病の食事療法①「食事療法のポイント」 ・シックデイ	4 7/16(火) 13:15 ~	・合併症②(心臓・血管・眼) ・糖尿病の食事療法③「間食及び外食のエネルギーと問題点」 ・運動について(実技)
2 3/19(火) 13:15 ~	・治療 ・糖尿病の薬について ・糖尿病の検査について	5 9/17(火) 11:45 ~	・ランチョンセミナー ★事前申込制 ・糖尿病の食事療法④「糖尿病食体験」 ・運動について(話)
3 5/21(火) 13:15 ~	・合併症①(神経・腎臓) ・糖尿病の食事療法②「バランスの良い食べ方は?」 ・糖尿病の機能性食品について	6 11/19(火) 13:15 ~	・合併症③(足) ・糖尿病の食事療法⑤「年末年始の食生活」 ・フィットケア

内容は都合により変更になる場合があります。

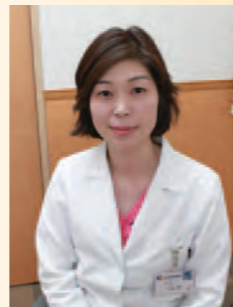
詳しい内容については当院ホームページ・院内掲示ポスターまたはスタッフまでお問い合わせください。

☎ <http://www.kmh.or.jp>



皮膚科専門医による 乾燥肌対策

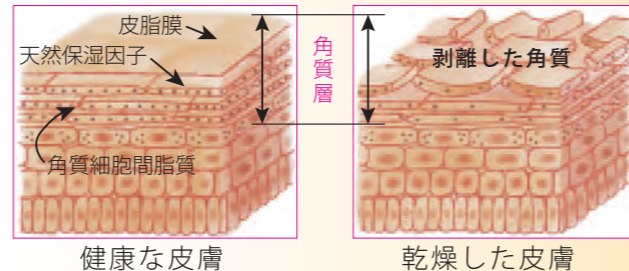
冬になると肌がかさかさしたり、粉をふいてかゆくなるなんてことはありませんか？
これはいわゆる「乾燥肌」です。「乾燥肌」を放っておくと、かゆみや湿疹などの
肌トラブルが起こりやすくなります。正しい知識を学んで冬の肌トラブルを撃退し、
健康的な美肌を守りましょう。



皮膚科
川名 愛

乾燥肌のしくみ

「乾燥肌」は皮脂欠乏症（乾皮症）といい、皮膚表面のうるおいが減少することによって生じます。健康な肌では皮脂腺から分泌される皮脂と肌の表面に近い角質層の細胞の中の天然保湿因子（アミノ酸）、角質細胞間脂質（セラミド）がしっかり皮膚の表面をおおって水分の蒸発を防ぎ、さまざまな刺激から肌を守っています。これらの物質が減少すると水分は奪われ、皮膚表面がかさかさしたりひび割れたりして「乾燥肌」になってゆくのですね。



どんな人が乾燥肌になるのでしょうか？

誰でも乾燥肌になる可能性を持っています。皮膚表面のうるおい成分（皮脂、天然保湿因子、角質細胞間脂質）は加齢によって減少するからです。その他、体の洗いすぎや暖房のきかせすぎ、栄養バランスの崩れた食生活やストレスなども肌の新陳代謝を阻害し、乾燥肌を引き起こすといわれています。また、アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患や糖尿病をお持ちの方、血液透析、一部の抗がん剤治療をされている方ではより皮膚が乾燥しやすいため、注意が必要です。

乾燥肌を放っておくとどうしてかゆくなるのでしょうか？

肌が乾燥すると皮膚のバリア機能が低下します。そこに洋服のこすれなどの刺激やアレルゲンが入り込むと、ヒスタミンなど様々なかゆみ物質が知覚神経を介して脳に「かゆみ」として伝えます。そして一度「かゆみ」を感じてひっかいてしまうと「湿疹」ができ、さらにかゆくなってかいてしまうという悪循環に陥りやすくなります。「湿疹」にはステロイドなどの塗り薬による薬物治療が必要です。このような「かゆみの悪循環」を引き起こす前に正しい保湿ケアを身につけ、乾燥肌を予防することが大事です。



入浴時のポイント！
熱いお風呂、長風呂は避けて石鹸をよく泡立てて、綿などの刺激の少ないタオルや自分の手で優しく洗いましょ！冬には低刺激の石鹸を選んだり、保湿タイプの入浴剤を使用するなど

保湿剤を塗りましょう！
乾燥肌予防の基本は保湿剤を塗ることです。保湿剤には軟膏やクリーム、ローションなど様々な種類がありますが、季節や症状に合わせて使い分けをしましょう。冬には皮膚を保護する効果が高い軟膏がおすすです。そして保湿剤を塗る際には入浴後すぐ、水分が逃げないうちに塗るとより多くのうるおいを皮膚に与えることができます。

生活環境を整えましょう！
空気が乾燥すると皮膚も乾燥してきます。冬は部屋に洗濯物を干したり加湿器を使用するなど適度な湿度を保ち、暖房のきかせすぎに注意しましょう。

肌着は刺激の少ないものにしましょう！
皮膚を刺激するとかゆみが強くなります。なるべく直接皮膚にふれる肌着などの衣類は綿などを選びましょう。

何よりかかないことが大切！
かゆくてかいてしまうと症状がひどくなります。かゆいときは保湿ケアをいつもより念入りにしてみましょう。それでもかゆみがおさまらない場合は「湿疹」などの皮膚疾患が隠れている場合もあります。悩む前にぜひ皮膚科を受診してみてください。

お肌でお悩みの方、気になる症状のお持ちの方で相談ください

ご予約・お問い合わせ 当院は予約制となります。診察の際にはご予約をお取りください。

皮膚科診療担当表	月	火	水	木	金	土
TEL:045-402-7015	午前 川名	午前 川名		午前 川名	午前 先田	午前 川名
受付時間	午後 川名	午後 川名		午後 濱野	午後 川名	
平日 8:30 ~ 17:30				山口		
土曜 8:30 ~ 13:00						

～女性のこころからの総合的な診療～
女性専門外来
 こちでも診察をおこなっております。
 ♀婦人科 ♀乳腺外科 ♀皮膚科 ♀総合内科 ♀こころ
 完全予約制 女性特有の症状でお悩みの方、お気軽にお問い合わせください。
TEL:045-402-7035
 予約・受付 (9:00 ~ 13:00 14:00 ~ 17:00) ※土曜は午前のみ

ぬりぐすりについて

-おくすりの話 vol.07-

薬剤部 北澤 恵里子

こんにちは、薬剤師の北澤と申します。
お仕事内容は、主に内科病棟を担当しており、薬剤部内の医薬品管理室に所属しています。また、糖尿病教室の担当をしておりますので教室にご参加された方は、お会いしたことがあるかもしれません。
さて、冬の乾燥が気になるこの頃、保湿剤やかゆみ止めのぬりぐすりを処方された方も多いのではないのでしょうか？



今回は、ぬりぐすりについてご説明します。

実は、効きめのある成分（主成分）だけを皮膚に直接ぬっても、うまく薬が入って効くとはかぎりません。そこで、軟膏やクリームといった基剤と呼ばれる添加物を混ぜることによって、主成分を皮膚の中にもうまうま入って効かせたり、皮膚を保護したり、塗りやすくしたりしています。

主な基剤の特徴

軟膏剤：ワセリンを多く含む油性の基剤です。

皮膚を保護し、かさぶたを柔らかくします、皮膚への刺激も少なく、手湿疹や傷口などに使用できます。ただし、皮膚に浸透しにくく、べとつきがあるため、使用感はあまりよくありません。



クリーム剤（乳剤性）：水分と油脂を混ぜた基剤です。

軟膏剤にくらべてべたつきがなく使い心地がよいのですが、防腐剤を含んでいるためアレルギーが出ることがあります。クリーム剤は、主に2種類に分けることができます。



● **バニシングクリーム剤：水分の中に油脂を混ぜたクリーム剤です。**

ぬった後しばらくすると水分が蒸発し、目立たなくなるので使いやすい、のびもよいのですが、皮膚への刺激が強く、乾燥を引き起こします。

● **コールドクリーム剤：油脂の中に水分を混ぜたクリーム剤です。**

バニシングクリームよりも刺激が少ないため、使用できる範囲が広いのですが、多少べたつきがあります。

同じ成分であるのに〇〇軟膏、〇〇クリームとあるのは、お薬の効能としては同じですが、基剤が違うため、使用感と刺激性が違ってくるのです。

ぬりぐすりの量と塗り方

軟膏・クリーム剤は、人差し指1関節分が手のひら2枚分にあたります。

しわに沿って皮膚にのせるようにやさしく塗りましょう。

注：一般的な使い方でありますので、主治医より使用方法の指示があればそちらを守ってください。使用するタイミングですが、1日1回である場合は、肌が清潔で、潤いがあり、血行が良い入浴後が効果的です。1日3回であれば、朝、日中、入浴後がよいでしょう。しかし塗るタイミングと間隔は大切ですので必ず主治医と相談したうえ参考にしてください。ぬりぐすりの効果が十分でないようであれば、使用方法を見直してみてもいいでしょうか？

KUMIHI NEWS
KUMIHI NEWS

11 21
医師および医療従事者のための
Skill up seminar 兼 病診連携の会 総会

※病診連携の会…近隣医療機関の先生方と「顔の見える連携」を第一に2003年9月に発足しました。

11月21日に新横浜国際ホテルにて開催した病診連携の会主催のスキルアップセミナーでは、講演会終了後に立食形式の懇親会が行われ、普段は顔を合わせる機会の少ない先生方と交流を深めることができました。



演題
「認知症治療の最前線」
大倉山記念病院 精神科
高橋正彦先生



当院常勤医師のご紹介



懇親会



11 22
消防訓練

当院では年2回、消防訓練を実施しています。夜間帯での火災を想定して各部署、割り当てられた役割に基づいて行動しました。当日は緊迫した中で訓練が行われ、事故もなく無事終了できました。

訓練により、どのような場合にも冷静に行動し対応できるよう取り組んで参ります。



11 28
横浜市消防局救急隊との勉強会

横浜市消防局の皆様と勉強会を開催しました。医師2名により当院で診療した症例を発表し、活発な質疑応答がなされました。救急隊の皆様との親睦を図ることができ、今後の救急医療において、より円滑な連携を築く礎になりました。



消化器内科 部長 西元 史哉 医師



循環器内科 医長 秋田 孝子 医師

医局人事のお知らせ



12月1日付入職
外科 玉置 秀司
昭和大学卒

Message

昭和大学北部病院から来ました。大学時代はアメリカンフットボールに打ち込みましたが、今は嘉悦先生の指導の元で日々仕事に打ち込んでいます。至らない所も多いと思いますがよろしくお願いします。

candle service
キャンドルサービス

当院では、入院患者さまに早く良くなっていただきたいという想いを込めて、毎年12月にキャンドルサービスを行っております。



病室を周り、お一人おひとりにささやかなプレゼントと手書きのメッセージカードをお渡ししました。このひと時が患者さまにとって少しでも心とらぐものになっていただければ、嬉しい限りです。



サンタに変装した研修医・看護師

火の誓い

保育室にもサンタさんが来てくれました!

クリスマス会



職員によるハンドベル演奏



プレゼントを枕元に…

12 13
第5回 公開市民講座 「冬の感染症対策」



講師 感染管理専従看護師
主任 森山 由紀

2012年最後の公開市民講座が菊名コミュニティハウスにて開催されました。インフルエンザやノロウイルスに対する予防策から感染してしまった時の対応策まで、ご家庭でできることをわかりやすくご説明しました。当院では今年も地域の皆様の健康に役立つ講座を開催していきます。次回開催は2月6日です。ぜひご参加ください。

12 19
第6回 公開市民講座 「春先の腰痛対策」

講師 整形外科 田畑 忍 医師 元気に春を迎えるために！
整形外科医が腰痛のメカニズムや予防・治療方法をわかりやすくご説明します。
日時 2月6日(水)
会場 13:45より
開演 14:00-15:30(予定)
会場 菊名コミュニティハウス
お申込み・お問い合わせは
045-401-4964まで

12 26
もちつき

年末の恒例行事が今年も開催されました。職員がついたお餅は地域の皆様に美味しく召し上がっていただきました。



2012年 広報誌ひかり 表紙大賞決定!!

2012年1月より、広報誌の表紙の写真を職員からの公募制にしています。応募していただいた職員の方々ありがとうございました。表紙大賞は、1・3・7・9・11月と「花・自然」をテーマに表紙を飾った画像診断部主任 金井啓揚氏に決定しました。

さて、今年の表紙テーマは「空」です。誌面と併せてお楽しみいただければ幸いです。





1月下旬より、新しい病棟編成になります。

今後も工事に伴う騒音や作業員の出入り等も出て来るとお思いますので、ご迷惑をお掛け致しますがご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

	E 棟		W 棟	
6 階	E6 病棟：脳神経外科・外科・内科（消化器）			
5 階	E5 病棟：整形外科・内科（消化器）		W5 病棟（特別個室病棟）	
4 階	外来・ER1	地域医療サービスセンター	ER2・ER3	
3 階	画像診断部		W3B 病棟 心臓血管外科・循環器内科・泌尿器科・内科（総合診療・腎臓）	W3A 病棟
2 階	管理棟		手術室	手術室



4F

外来フロア

待ち合いの椅子を、新規更新しました



2F

手術室

第4、第5手術室を増設しました

編集後記

今号で最も印象に残った行事は、キャンドルサービスです。プレゼントをお渡しに何うと、感動されたのか涙を流す患者さまもいらっしゃいました。励ましの言葉を職員がかける中、私は言葉が見つからず、ただ写真を撮っていました。何て無力なのだろうと落ち込みましたが、感じた想いを記事にして、皆様にお伝えすることは出来るのだ、と広報の本来の意味を見つけた気がします。本年も言葉の重みや大切さを考え、皆様に読みやすくわかりやすい広報誌となるよう心がけて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。 広報 佐藤

当院の基本理念

私たちの病院の使命—Mission—
質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構
認定病院 (Ver.6.0)



JQA-QMA14243
ISO9001:2008
認証取得病院



ピンクリボン運動
を応援します。



地域医療支援病院
菊名記念病院

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-4-27
TEL : 045-402-7111(代) FAX : 045-402-7331
URL : <http://www.kmh.or.jp/> E-mail : kikuna@kmh.or.jp